



家庭を「学び」の環境に

ぐんぐん



子どもの学ぶ力は家庭学習から育ちます

子どもの教育は家庭から始まります。子どもたちは、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割です。しかし、家庭の関わり方によって、その育ちは大きく変わります。

今こそ、学校と家庭が一致協力して、子どもたちの「学ぶ力」を伸ばしていきましょう。



「学ぶ力」とは？

「もっと調べてみたい」「もし・・・だと、どうなるだろう」「なぜ・・・なのだろう」などと、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら解決していく資質や能力のことを言います。



家庭学習で身につく力

家庭学習をすることによって、読み・書き・計算などの力が身につくだけでなく、生活時間を有効に使うことができるようになる力がつくとともに、「意欲」や「自分をコントロールする力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」などとなって、自分自身を高めます。

これらの力は、毎日こつこつと繰り返し努力する中で身につけていきます。



家庭と学校とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育てましょう

生活リズムを整え
学習に集中できる
環境を



家庭で

すすんで
学ぶ力



基礎学力をつけ
主体性を育てる
学習指導を



学校で

毎月11日は「家庭学習の日」



●家庭学習のすすめ

家庭学習を習慣化するには、**おうちの方の協力が必要です**

テレビを消して、落ち着いた環境で学習できるようにしてあげましょう。

お子さんにやる気を起こさせるためには、保護者が読書等をしている姿を見せることも大切です。

そして、勉強の様子やノートを時々見てあげて、ほめたり、励ましたりしてあげましょう。

家庭学習を より充実させるために ご家庭へのお願い

早寝・早起き・朝ご飯の習慣をつけることは、学習できる体をつくるために大切です。

そして、子どもの頑張りやよさについて、ささいな事でもほめて育てましょう。

一生学び続ける基礎をつくりましょう。



大牟田市公式
キャラクター
「ジャーク」

大牟田市教育委員会